* ポスト医ゼミ事務連絡
  + 宿泊

目の湯行ってきたらしまっていたのでまた行きます。第二希望は末広

* + 集約ＭＬ

明後日までに出来そう。ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙは②でＯＫ。分科会の人に連絡。

* + 講師

録画・録音ＯＫ。ﾏｲｸ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ使う。

* + パンフ・チラシ

今日たっつみーにひきつげたので、これからやります（30日までにはやります）

* + サークル協議会について

事務局会議でやる

* その他の事務連絡

12月2日の合同学習会は信大学生総会（医学科2年以上出席義務）のためキャンセル。

ただし、医学科1年生と看護学科は結構可能

* こばりょうの新聞記事紹介

「地域で支える在宅介護」の記事を読んで

* （あっこ）医師だけではできない地域医療。地域の中で、自分たちでこういう活動をできるのはいいなと思った。地域で支え合っていって、地域のお年寄りは地域で見ていけるという体系ができれば、これからもやっていける。ひどすぎる人は何か知らんお施設に入った方がいいが、軽い人は専門の人だけじゃなくても携われる介護の在り方。
* （こばりょ）地域で支えることも老々介護のひとつかなと思った。若い人たちもかかわれる形になればいいなと思った。
  + （ひが）定義の問題だが、60くらいならいいんじゃない？  
    田舎にいけばまわりみんな70代。それに比べれば、60くらいの人たちの介護の手があれば十分  
    むしろ10代の人たちに高齢者の人のことわからない。だから若造が支えてやろう！ってものそれはそれで難しいところがある。
* （あゆ）96年開設時は核家族化などで家族が介護できず、ということであったがでも地域のこういうのが浸透していけば、顔の見える付き合いになり、「あそこのあの人」みたいな感じで生きがいとか、人と会うために外にでるようになる
* （こばりょ）誰でもできることをやれる「薬をちゃんと飲んだか」⇒これで結局みんな仲良くなれる
* （りょう）上から言われてやるより、自分たちで自治会としてやるってのもポイント
* （ひが）12月4日の学習会は具体例がないのでキャンセル。その代わりに社協の人から地域で支えるボランティアのお話、一市民でできることを寸劇でアピールをしてくれる。
* （あっこ）出身の長野市と近いのにすごい。知る機会が少ない。新聞も回覧板も。親の介護とか始まれば関心でるだろうけど、まだみんな元気だし。そういうのってどうやって広めるんだろうか。
* （ひが）広めるのの方が問題。
* （ひらかわ）ニーズがあるところにしか広がらない。開業の先生が一人で担っているとしたら、病院、薬局とかと協力して。みんながやっている雰囲気あれば広がるだろうけど。